

# のかるまい 議会だより

No.192

平成25年1月24日



寒い中でも元気いっぱい！  
(元旦マラソン大会)

小中学校の統合が決定	.....	2
一般質問（5議員が質問）	.....	6
視察研修レポート	.....	12

謹賀新年

# 校に統合 成26年度から



第15回（12月）定例会は、12月11日から18日までの8日間の会期で開かれました。

一般質問は5議員が登壇し、町政執行をただしました。  
（6～10ページに掲載）

一般会計補正予算など5件と人権擁護委員の推薦2件が提案され、人事案件と補正予算の専決処分は即決で可決、その他の議案は補正予算等審査特別委員会を設置し、審査の結果、最終本会議で報告、原案のとおり可決しました。

また、最終本会議では軽米小学校建設工事の変更契約が追加で提案され、その場で可決しました。

かるまい議会だより

目次 No.192

- 4 可決議案・特別委員会
- 6 一般質問
  - 6 前田泰穂議員  
介護保険について
  - 7 古舘機智男議員  
環境保全に関する条例  
制定について
  - 8 茶屋隆議員  
小学校の通学路に  
ついて
  - 9 松浦満雄議員  
教育行政について
  - 10 細谷地多門議員  
林業振興について
- 11 議会の動き
- 12 常任委員会視察研修  
レポート
- 14 未来に残したい  
軽米の風景  
表紙の写真



1月1日に、物産交流館前で元旦マラソンが行われました。走り終えた後は臼と杵を使った餅つきや宝まきも行われました。

# 4中学校を1校

平

## 統合Q&A

- Q：統合後の制服や校章・校歌は？  
A：現在の軽米中学校・小軽米小学校のものを使用します。
- Q：統合した時2・3年生は制服を買い替えるの？  
A：統合前の学校の制服・運動着をそのまま軽米中学校で使います。
- Q：統合時にクラブは変えられる？  
A：統合した後でクラブの選択が可能です。
- Q：統合前にクラブが合同で練習したり試合に出られるの？  
A：各学校で合意すれば可能と考えています。



## 笹渡小は小軽米小と統合

今議会で軽米町立学校設置条例が改正され、小学校は軽米、晴山、小軽米（笹渡が統合）の3校に、中学校は軽米、晴山、小軽米、笹渡の各中学校が統合して軽米中学校1校となります。平成26年度からこの体制が実施される予定です。

中学校については現在の軽米中学校の施設をそのまま使用し、校歌・校章・制服なども軽米中学校のものを使用する予定です。

町教育委員会ではこれまでPTAなどを対象に説明会を行い、そこで出されたスクールバスのきめ細かな運行や空き校舎の有効活用、クラブや児童・生徒の交流、1クラスあたりの人数が増加してもきめ細かな学習指導を行うなどの意見や要望に対して、検討、対応していくと説明されました。

# 補正予算など6議案を可決

## 専決処分

平成24年度一般会計  
補正予算(第3号)

衆議院議員選挙にか  
かる費用1301万6  
千円を増額しました。

## 補正予算

平成24年度一般会計  
補正予算(第4号)

1689万3千円を  
追加し、総額を6億9  
312万9千円に補正  
しました。

平成24年度国民健康  
保険特別会計補正予算  
(第2号)

559万1千円を追  
加し、総額を14億14  
50万2千円に補正し

ました。

## 条例の改正

臨時職員の任用期間  
地方公務員法の規定に  
基づき、一般職の給与  
に関する条例を一部改  
正しました。

笹渡小学校と小軽米  
小学校の統合と、町立  
中学校4校を1校に統  
合するため、町立学校  
設置条例を一部改正し  
ました。

## 変更契約

軽米小学校建築工事  
の契約額に653万7  
300円を追加し、総  
契約額を7億6306

万2300円としまし  
た。

## 人事案件

人権擁護委員に西  
山武男さん(下新  
町)、小林敦子さん  
(下円子下)を推薦す  
ることに適任と答申し  
ました。

議会推薦の農業委員  
を泉山和彦さん(下円  
子下)、古里典子さ  
ん(下晴山)に決定  
し、推薦しました。

## 請願陳情

### 採決

妊婦健診とヒブ・小  
児用肺炎球菌・子宮頸

## 委員長報告

# 全議案ともに可決

## 茶屋 隆 特別委員長

平成24年度軽米町一  
般会計補正予算等審査  
特別委員会に付託され  
た案件は、条例改正2  
件、補正予算2件の4  
件だった。

一般職の職員の給与  
に関する条例の一部改  
正については、正職員  
を減らしたため臨時職  
員が増えている現状は  
通常の状態ではないの  
ではないか、また今後  
の方針はという質問に  
対し、町長は行革の中  
でやってきた、今後総  
合的なバランスの中で

各委員から積極的  
意見も出され、終始活  
発な議論が出された。  
採決においては全議  
案ともに反対者はな  
く、全員賛成で可と決  
した。

検討するという答弁  
だった。24年4月で正  
職員が153人、臨時  
職員が通年で54人と全  
体の4分の1であり、  
このような職員のバラ  
ンスは好ましくないの  
ではないか、検討が必  
要ではという意見も出  
た。

岩手県の医療費助成  
制度について現物給付  
の導入を求める意見書  
 都道府県単独医療費  
助成制度における現物  
給付導入に係る交付金  
削減の撤廃を求める意  
見書

## 議員発議

妊婦健診とヒブ・小  
児用肺炎球菌・子宮頸  
がん予防3ワクチンへ  
の2012年度と同水  
準の公費助成を国に求  
める意見書

がん予防3ワクチンへ  
の2012年度と同水  
準の公費助成を国に求  
める意見書提出の陳情  
(陳情者・新日本婦人  
の会軽米支部)

見書

# ここが聞きたい特別委員会

ここでは特別委員会の質疑の一部を掲載しています。

## 職員の雇用

**問**

町では行政改革の一環として正職員を減らし、臨時職員を増やして来ている。臨時職員を恒常的に雇用しているのは正常な形ではないのでは。人件費の問題もあるかもしれないが、住民サービス向上の面か

**答**

平成24年4月時点で正職員153人、臨時職員は54人となっている。数年前から正職員の採用を増やしている。総合的なバランスの中で検討していく。

らも正職員として雇うべきではないか。

## 放射線量調査

**問**

放射線量調査費が減額となつているが、理由は。

**答**

昨年は町内30ヶ所を2回調査した。今年度はそのうち比較的数値が高かった15か所を調査した。調査結果はこれから公開

## 広域ごみ処理

**問**

岩手北部広域環境組合で計画しているごみ処理施設について、これまで組合が前提としていた二戸・久慈地区の広域化は国の交付金要件とは無関係だという報道がされた。今後市町村長が集まって協議がなされるか聞いている。町長の所見は。

**答**

現時点では判断材料となる情報が不足している。どちらがいいのかという情報を早急に集め、熟慮の末に判断したい。

## 消防署の改修

**問**

二戸消防署の軽米分署はトイレが外にしかなく、建物も老朽化している。以前に二戸本部の新築と合わせ改築すると言っていたが、具体的な計画は。

**答**

二戸消防署のデジタル無線の整備と同時期に改修を検討している。

**問**

消防の緊急放送は聞こえづらいため、告知端末での放送はできないか。

**答**

設備的には可能であるが、消防署では人的に対応できないとのことだった。放送できるように消防署と協議していく。



二戸消防署軽米分署の指導による  
消火訓練

前田 泰穂 議員



**質問** 現在の特別養護老人ホーム等への入所希望者の待機者は何名か。

**健康福祉課長** 町内3施設の待機者は、のべ人数で209人である。待機状況は在宅55人、他の施設に入所中が65人、入院中は89人となっている。

**再質問** ①今後10年後以降、団塊の世代の介護が必要になる時期に要介護者数のピークが訪れると思われる。現在の状況では施設整備によるベッド数の増加

は期待できないが、具体的な対策は。

②施設間での情報共有のため、包括支援センターとの連携を強めるべきではないか。  
③ショートステイは必要な時期になかなか利用できない。原因と対策は。

**町長** ①二戸広域の会議で議論しながら検討したい。  
②現在も病院や他施設との会議はおこなっているが、さらに連携を密にするよう取り計らっていきたい。

## 問 増加する要介護者に増床で対応を

## 答 二戸広域で議論し対応を行う

介護保険

### そのほかの質問

**健康福祉課長** ③施設入所全体の整備状況は、本町は180床である。高齢者16・2人当たり1床となっており、二戸広域県内の19・2人あたり1床と比較してベッド数は多い。空きベッドを利用した短期入所もおこなっているが、短期入所用のベッドは少ない状況である。施設整備は待機者の状況を踏まえながら広域に要望していく。



特別養護老人ホーム「いちい荘」

せいで遅くまで仕事している。人員配備の必要があるのではないかと。②介護が必要な痴呆性老人への対策はあまり知られていない。町民

**町長** ①人材育成も含めて検討したい。  
②実態の把握の上、対策を検討したい。

への周知を。

**問** 学校以外に太陽光発電設備導入の考えは

**答** 防災拠点となる施設へ再生可能エネルギー導入

**問** 町の管理している老朽化した施設の状況は

**答** 138施設中49施設が築30年を経過

産廃処分場

問 水道水源保護条例の制定を

答 法令との整合性を慎重に調査

質問 早渡地区で進んで

いる産業廃棄物最終処分場の建設計画を阻止するためにも、軽米の自然を生かしたまちづくりのためにも、水道水源保護条例の制定を検討すべきでは。

町長 環境保全や公害の未然防止等に関する条例の制定状況や環境施策について、情報を収集しながら実施に向

けた検討をしていく。

再質問 水道水源保護

条例は実際に産廃封じに使われている。廃棄物処理法では水源の保護ができないために水源保護条例が必要であり、違法とは言えないと思われる。早急な対応が必要と思うので検討を願いたい。

町長 産廃処分場に対



古館 機智男 議員

する反対の立場は今後とも変わらない。企業に質問状を出していたが、不安を払しょくできる内容でなかったため、さらに回答を求めている。また、八戸市長、八戸圏域水道企業団、洋野町と協議している。

町民生活課長 条例は法令に反してはならないという原則がある。今回の産廃建設については、産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律や県の循環型地域社会の形成に関する条例、県環境影響評価条例などによって、事業を進める上での申請内容が規制されている。

また、生活環境影響調査も義務付けられており、処分場計画を町で規制するための条例の制定は法令に反する可能性がある。慎重に調査研究したい。

水道水源保護条例は県内では盛岡市、宮古市、紫波町、岩泉町などで制定している。法との関連を調査しながら制定について検討したい。

その他の質問

問 TPP参加反対に具体的な計画あるか  
答 基幹産業である農業に甚大な影響、町民の代表として参加反対の意思を示していく



産業廃棄物処分場建設の説明会（11月3日）

茶屋 隆 議員



**質問** ①県内小学校の通学路に危険箇所は1101箇所あり、そのうち安全対策が必要な箇所は554箇所あるとの新聞報道があった。町内の状況と今後の対応は。

②軽米小学校の新築に合わせ、裏手の保育園・商工会の間から桜山に抜ける未舗装の道路を、緊急車両も通れるように整備してはどうか。

**教育長** ①今年8月に各学校からの報告をもとに警察、二戸土木センター、地域整備課、町

民生活課学校及び教育委員会が合同で点検と対策の検討を行った。歩道がない、道路幅が狭いなどの危険要因がある24箇所を点検した。今後は道路改良で対応するものや、当面改良が難しい箇所は看板の設置やPTAによる見守り活動の強化などにより安全管理を図る。

②軽米小学校の進入路は緊急時を想定し、校門と反対側の南側からも入れるように設計されている。将来的な道路拡幅も想定した建物配置となっており、地

配置となっており、地

## 問 危険な箇所の安全対策は

## 答 道路改良・看板設置等に対応

通学路

### そのほかの質問

**問** ごみ減量化、現状と今後の計画は

**答** 生ごみ分別収集で38%減、プラスチック分別収集を実施中

**問** 地域懇談会の参加者少ない、対策は

**答** より多く参加いただけるよう時期・場所を検討



小軽米地区の通学路に看板が設置されました

再質問 晴山小学校が区の交通の利便性を高めるためにも関係課と協議していく。

再質問 晴山小学校が

ら観音林に抜ける道路は歩道がなく、最近着工した。児童の安全のため、軽米小学校の道路整備は校舎建設と並

行して進めるべきでは。町長 関係課と協議し検討したい。

## 高校支援

# 問 副食給食支援員の継続を

# 答 高校側の実情を把握し検討

質問

①軽米高校のバス通学に2分の1の補助をおこなっているが利用者は少ない。全額補助の考えはないか。  
②副食給食の支援員は今年度で廃止の予定だが、高校側では継続を希望していると聞いている。継続の考えはないか。  
③教育振興会長でもある町長が先頭に立ち、

軽米高校を守り育てる会を結成してはどうか。  
④小中学校の統合により新たな空き校舎が発生する。活用方法は、

⑤小中学校の学力向上を図るため、退職した教師や教師を目指す方などを学力向上支援員として配置しては、

町長 ①現在、軽米高

校へ通学する生徒についてはバス乗車券の購入に対して半額の助成をおこなっている。通

学の利便性を高めることは地方に立地する学校として重要な課題と

考えているので、今後も支援していきたい。  
②基本的には小中学校と同様に自己完結によ

る給食をお願いしたいと思っ

ている。実情を考慮しながら今後の対応を検討したい。  
③県の高校再編の動向を見守りながら、同窓会などを中心とした形で組織的に軽米高校を守り育てていく機運を

高めることが必要と考えている。  
④遊休施設等有効活用

対策検討会議を設置し、施設の状況を調査

しながら検討会議を開催してきた。今後廃校となる施設は耐震基準

をクリアしており、地域の活性化に活用できるように検討する。

町長 ⑤現在、少人数指導や理科支援の講師が15人配置されており、町でも特別支援の必要な児童のサポートとして5名、学習支援

サポートとして教員資

格のある2名を配置している。今後は教員配置を県教育委員会に要望し、学習強化に向けた支援員の配置を検討する。

再質問 ①中学校のスクールバスに高校生も

同乗できないか。  
②町内中学生の軽米高校への進学率が低下

している。対策は。  
③副食給食を全額補助しても、現在の予算規模で対応できる。検討

願いたい。  
④定年を迎える方々の

協力を仰ぎ、町内の空き家や空き店舗を無償提供して住んでもらう

て、教育向上と地域活性化を図れないか。

教育次長 ①学校統合の時期と合わせて検討

したい。  
教育長 ②今年の軽米高校希望者は67・4%。

進路の決定にあたって家族とよく考えていただき、適切な志望選択ができるように学校を通して指導していく。

町長 ③給食支援員は来年度も必要とは考えている。ただし、あくまで自己完結の前段階

という考えのもとに検討したい。  
④教育OBの協力を得ながら検討したい。



松浦満雄 議員

## そのほかの質問

問 中止となった養鶏団地、跡地にメガソーラー誘致を

答 地権者の意向を確認し、事業者に働きかけ

細谷地 多門 議員



**質問** ①林業振興についての将来の取り組みは。

②林業の活性化施策を行うことで、将来的に若者が就業できる産業にできないか。

③森林資源を活用し明るい未来が展望できるよう、林業振興策を国や県に訴えてはどうか。

**町長** ①当町は総面積の約76%が山林で森林資源の豊富な町ではあるが、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化及び減少により、管理のおこなわれていな

い森林が多くなっている。森林組合等の関係機関と連携しながら、適正な森林施業の推進と特用林産物の生産振興を図り、林業振興に努めたい。

②これまで林業への関心を深めるため、自然愛護少年団等による植樹、枝打ち等の林業体験、炭焼き体験学習などをとおこなってきた。

また、林業に対するマインスイメージの払しょくと森林施業の効率化のため、森林組合等への機械施設の導入を促進し、林業の近代化を進める。

また、林業に対するマインスイメージの払しょくと森林施業の効率化のため、森林組合等への機械施設の導入を促進し、林業の近代化を進める。

## 問 若者が働ける産業にできないか

## 答 植樹や炭焼き体験で関心深める

### 林業振興

#### そのほかの質問



軽米小学校の炭焼き体験

③当町では小規模林家が多く、収益の確保や山林の手入れが難しい。効率的な森林経営のため、施業の集約化を進める林業事業体を育成し、長期的な受委託の普及、定着を進めながら、次期の林業基

本計画に反映されるよう国や県に働きかけていきたい。

込み、将来のビジョンが必要ではないか。

**再質問** 若者が働ける産業へと発展させるには、林業従事者等からの情報収集、実情の把握が必要と思う。地方から要望を発信して国を動かすくらいの意気

町長 国全体でバランスのとれた保全が必要とされている。社会資本と同時に自然資本の整備も進めてもらうよう働きかけていきたい。

町長 国全体でバランスのとれた保全が必要とされている。社会資本と同時に自然資本の整備も進めてもらうよう働きかけていきたい。

**問** 低コスト牛舎事業に対する説明不足により

議会に誤解・疑念がある。説明責任を

**答** 資料不足で説明不十分だった。事業主体に

誤解を与え、配慮不足と反省している

## 議会の動き

議会は、定例会や臨時会のほかにもさまざまな活動を行っています。主な動きをお知らせします。

### 【10月】

▽5日・議会報編集委員会▽7日・町総体・町民体育祭・健康まつり▽10日・議会運営委員会▽16日・みちのく銀行軽米支店開設50周年記念祝賀会▽17～18日・産業建設常任委員会視察研修（一関市ほか）▽20日・平庭観光開発創立40周年記念式典・祝賀会（久慈市）▽20日・首都圏交流事業▽21日・食フェスタ in かるまい▽21日・野田村消防団交流会▽22日・議会運営委員会▽22日・第14回町議会臨時会▽22日・全員協議会▽28日・町民文化祭開幕式典・ステージ発表会▽29日・議会運営委員会▽30日・二戸地区広域行政事務組合議会定例会（二



「食フェスタ in かるまい」

人事案件  
教育委員会の委員に  
菅波俊美さん（桜山）  
を任命することについて  
同意しました。

第14回臨時会  
（10月22日議決）



「地域懇談会」

戸市）▽31日・全員協議会▽31日・岩手北部広域環境組合議会定例会（二戸市）

### 【11月】

▽1～2日・教育民生常任委員会研修視察（秋田県）▽1～29日・地域懇談会▽2日・久慈地区軽米出身者の会（久慈市）▽3日・芝桜植栽・グリーンデー▽4日・円子よさこい組「どっこいしょ」結成10周年記念公演▽6日・カシオペア連邦議会議員協議会交流会（二戸市）▽7日・軽米町交通安全推進大会▽10日・「樹原ゆり」かるまい朗読会▽12日・北部地区町村議会議長会行政視察（群馬県）▽13日・岩手県議長会政務調査会（東京都）▽14日・町村議会議長全国大会（東京都）▽16日・議会運営に係る協議▽19～20日・町村議会広報担当者研修会（花巻市）▽21～22日・総務常任委員会研修視察（山田町ほか）▽26日・違反転用農地の原状回復確認調査▽26日・議

会運営委員会▽29日・全員協議会▽30日・納税貯蓄組合連合会50周年記念式典

### 【12月】

▽2日・郷土芸能まつり▽3日・くずまきワインパーティー（盛岡市）▽5日・議会運営委員会▽8～9日・在京軽米会総会（東京都）▽11～18日・第15回町議会定例会▽11日・町政調査会幹事会



「郷土芸能まつり」

▽12日・老人クラブ芸能大会▽12日・カシオペア青年会議所通常総会・卒業式（二戸市）▽14日・総務・教育民生・産業建設常任委員会、議会報編集委員会▽18日・全員協議会・町政調査会▽21日・寿大学修了式

### 議長交際費を公開します

（10月～12月まで）

議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

各団体の総会や式典の会費などが主なものです。

詳しい内容は町のホームページに記載しています。

○お祝い（会費含む）	10件	55,000円
○その他（土産など）	3件	20,456円
○弔事	1件	5,000円

臨時会で  
決まったこと

# 常任委員会 視察研修レポート

議会では町の発展のために、見聞を広め知識を深めていくことを目的に、他の自治体の先進地を訪れて視察をおこなっています。総務・教育民生・産業建設の3常任委員会がそれぞれの所管分野について視察研修を行いましたので、その研修内容を報告します。

## 被災地の復興状況と議会活性化

### 総務常任委員会

#### 山田町・大槌町・紫波町



姉妹町の音更町の議員と合同で視察を行いました

の姉妹町である音更町の職員1人も派遣されており、派遣職員の業務内容も詳しく説明してもらいました。

今の被災地では、復興に携わる職員の不足が大きな課題となっています。

被災住民の住宅移転などに係る確認作業など、県外や外国在住の方への照会など、一つの事務量の多さに、休日返上で毎日が残業とのことでした。派遣されている職員も来年3月にはほとんど戻りたいという希望とのことです。

来年は、今年よりも50人以上の派遣職員を増やさないと業務をこなせないというのが現状のようです。

このような現状を視察し、復興支援のために職員派遣を強く町側に要請しなければならぬという痛感を感じました。

紫波町議会では議会の在り方に関する検討委員会を設置し、通年議会や定例会終了後の町民への報告会などを導入し、議会改革に積極的に取り組んでいます。

軽米町でも議会の活性化の必要性を感じており、今後議会改革のための組織を立ち上げ、懸案事項を1つずつ議論して解決していきたいと思えます。

総務常任委員会（川原木賢一委員長）は、11月21日、22日の2日間、山田町、大槌町の震災による被災及び復興状況と、紫波町で議会運営について視察研修を行いました。

山田町、大槌町ともに、復興はほとんど進んでいないという印象を強く受けました。

大槌町には県内外の多くの市町村職員が派遣されています。

派遣職員には、当町

# 社協の運営とごみ有料化

## 教育民生常任委員会

### 由利本荘市 秋田市

#### 教育民生常任委員会

(中村光夫委員長)は、11月1日に、由利本荘市社会福祉協議会で運営をしている「白百合苑」で社協の活動内容とともに施設を視察して来ました。

白百合苑は、全館オール電化で、中央に広々とした多目的ホール、4人部屋でも仕切りがあり個室のようになって、しかも家庭的な雰囲気のある部屋には感銘し、「いちいち荘」を将来建て替えるときには、プライバシーの保護と低料金を兼ね備えた施設にできればと感じてきました。



由利本荘市の特別養護老人ホーム「白百合苑」

印象に残った社協の事業には、職員の子どもに働いている姿を見せる「子ども参観日」

の実施や、高齢者のお宅の冷蔵庫に医療情報や連絡先などを筒状の容器に入れて保存し、緊急事態でも適切に対応できる「救急医療情報キット配布事業」などがありません。

11月2日には秋田市で家庭系ごみの有料化

事業を視察しました。24年7月からごみ袋の料金に1リットルあたり1円を加算した結果、9月には約20%の減量に成功。中でも紙類のごみが減少し、古紙の資源化率が上がっています。

本町においては、ごみの分別に励み、コンポスト等の普及によって、重量のある生ごみを減らすことが減量の近道と言えます。ごみの減量には、町民の理解と協力が必須だと実感してきました。

### 八幡平市 一関市

#### 産業建設常任委員会

(前田泰穂委員長) 10月17日、18日の2日間、八幡平市と一関市へ小水力発電事業についての視察を行いました。

両市とも一級河川の豊富な水量を活用し、事業費もほぼ同規模ながら、事業内容は大きく異なるものでした。

八幡平市では、全国でも珍しい景観を見せる松川温水路に直径

## 多様な小水力発電

### 産業建設常任委員会



八幡平市の小水力発電施設

6・5メートル、幅1メートルの水車を設置し、売電による収益よりも環境学習の教材や観光資源としての役割に重点を置いています。問題点としては、開放型のため落ち葉等の対策が必要なこと、冬は凍結防止のため休止していることなどがあげられていました。

一関市の照井土地改良区の発電施設は発電効率を重視し、コンク

リートで覆われ一見してそれとはわからないような施設でした。年間を通して発電が可能な、年間発電量は一般家庭82戸分にもなることとです。また、この近くにはもう一つ、水路の落差を利用した赤萩(あこうぎ)発電所もありました。これは自力での起動が可能で、災害に強いつくりとなっていました。

# 未来に残したい軽米の風景③



## 古屋敷の千本桂 (晴山26-77-4)

昔、水を飲みに立ち寄った牛方が地面に刺したまま忘れていった杖が根付いて大木になったという伝説があります。樹齢は推定590年、高さは25メートルの大木です。昭和48年に町の天然記念物として指定されました。

○このコーナーでは、軽米町の文化財などを紹介していきます。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えしたこととお喜び申し上げます。2013年が町民の皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。

さて、年末にある町民の方から、「議会の皆さん頑張っていますね、議会報を毎回読ませてもらっていますよ、カラーになつて文字も大

きく読みやすくなつて、毎回楽しみに読ませてもらっていますよ」とお褒めの言葉をいただき、気持ちよく帰ってきました。

今後とも町民に親しまれ、読みやすい議会報づくりに取り組む決意を新たにしたいところでもあります。

議会報編集委員会

委員 松浦満雄

## 議会報編集委員会

委員長

上岩紀男

副委員長

前田泰穂

委員

山本幸男

泉山優

細谷地多門

松浦満雄

